

東大和三中だより

～ 自らを律し、共に学び合う生徒の育成 生きる力を育む ～

令和6年1月10日

1月号 (No. 9)

発行 東大和市立第三中学校

〒207-0016 東大和市仲原 2-7

TEL 042-564-5411

ミッションをクリアし、イメージ通りの4月を迎えよう

校長 中屋 珠美

新年あけましておめでとうございます。昨年は本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。今年度も引き続きよろしく願いいたします。今年度は能登半島地震、日航機の事故と心が痛む暗いニュースからの年明けとなりました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。また、1日も早く穏やかに過ごせる日が来ることを祈っております。

日本人は古来より言葉には霊が宿り、言葉を発することで、その言葉通りの結果をかなえることができる力があると信じていました。いわゆる『言霊』です。自分のイメージ(例えば、大会で必ず得点する。友達ともっと笑いあう...等)を漠然とイメージしているよりも、できれば具体的に『〇〇日までに××を達成する』と具体的に言葉にすることがポイントです。また、人は優しい言葉を聞けば穏やかな心になり、非難や悪口を聞けばたとえ自分に関係ない人のことでも嫌な気持ちになるものです。日頃から良い言葉を声に出している人は良いことを引き寄せることができるといわれています。逆に『自分はダメだ』『何をしてもうまくいかない』『なぜわかってもらえないだ』などネガティブな言葉や人の悪口などを口にすると悪いことを引き寄せてしまいがちです。自分のもとより聞かされた人もますます気分は落ち込みますし、閉塞感を感じ長引くと核心を他のものとすり替えてさらに攻撃的になりがちです。同じ状況でも『何とかなる』『私はできる子!』等ポジティブな言葉を口にすると元気が出ると同時に『リカバリーすればいいんだ』と気分を変え、次の方法も思い浮かび前進することができるものです。これも『言霊』の力です。まずは4月の自分をイメージし、ステップアップするための具体的な準備を始めてください。声に出していきましょう。行動していきましょう。

3学期のミッションは、『3学期を次の学年の0学期としてとらえ、自分の進級進学後をイメージし、実現できるように準備をする』です。自分自身で4月からステップアップするための準備を始めてください。すべきことは『周囲の人に宣言する』『目につくところに文字で書き、貼る』『毎日繰り返し声に出して復唱する』...つまり言葉にすることです。言霊の力を利用しましょう。君たちならきっとイメージ通りの4月を迎えられると信じています。

1月16日(火)から3月31日(日)まで、2年社会科担当・2年1組担任の山口俊輔教諭が休業休暇を取得します。その間、小林英樹教諭が教科指導・担任を引き継ぎます。どうぞよろしくお願いいたします。

1月11日から、2学年が2泊3日で菅平にスキー教室に行ってきます。HPに様子をアップしますので、ご覧ください。当日の6時ころまたは翌日午前中にアップ予定です。(1年生の様子も同様に実習中はアップします)

